

CASBEE® 広島

(2010年ver. 1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	宇品海岸1丁目マンション	階数	地上15F
建設地	広島市南区宇品海岸1丁目1308-14	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	185 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年1月 予定	評価の実施日	2011年6月10日
敷地面積	799 m ²	作成者	保手濱 悟子
建築面積	313 m ²	確認日	2011年6月17日
延床面積	3,666 m ²	確認者	河上 一平

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.1

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.3	スコア = 2.3	スコア = 2.9
設計の計画上特段に配慮した事項 省エネ法の基準に沿った適正な断熱材で熱負荷を抑制する。/ 有効な採光・通風が確保できる。/ 設備システムの高効率化を図る為、自然冷媒(CO ₂)ヒートポンプ給湯器を採用した。// 節水型器具・節水型便器の採用。内装材と設備が解体・改修・更新の際に、容易にそれぞれを取り外しが出来るように配線等の躯体への打ち込みはしない。/ ライフサイクルCO ₂ の排出率が、一般的な建物と同等	設計の計画上特段に配慮した事項 緑化推進制度で定められた緑化率を確保。空地及び日陰の形成に努める。/ 適切な量の駐車場及び自転車置場を設置する。	設計の計画上特段に配慮した事項 耐久性のある部材を選定し、使用する。/ 可能な限り構造部を痛めることなく、設備の修繕・更新を行う。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される